



議会だより

かまし

No.15

平成22年(2010)2月1日

Gikaidayori KAMASHI

国の地域活性化・経済危機 対策交付金等の使途は？

2P

嘉穂陸上競技場の高校生の利用区分見直し・
12月補正予算

3P

委員会審査結果報告

4P

民生文教委員長選任ほか

5P

人事案件・意見書・請願

6P

永年の功労を表彰・議案の結果一覧

7P

自治基本条例特別委員会中間報告

8P

いっぱん質問

9P

委員会研修報告

16P



平成22年
成人式

於:サルビアパーク



国の

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 及び地域活性化・公共投資臨時交付金事業

使途は？

平成21年度一般会計補正予算（第5号）

嘉穂益富城自然公園道路改良工事等



道路の拡幅がおこなわれます。
(4,549万6千円)

竹粉碎機購入（2台）



(1,728万3千円)

9月定例会において、平成21年度一般会計補正予算（第4号）のうち、嘉穂益富城自然公園整備工事関連予算2億9055万5千円が減額修正されました。
これに伴い、11月臨時会において、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び地域活性化・公共投資臨時交付金事業に伴う補正予算が再度提案され、可決しました。
主な使途は次のとおりです。

嘉麻市独自に育児支援給付金2万4千円を交付



(3,960万円)

この給付金は、平成21年12月1日現在、小学校就学前の子が対象で、一人当たり1回限り支給されます。申請期限は3月31日。詳しくは、こども育成課までお問い合わせ下さい。

嘉穂陸上競技場トラック改修工事等

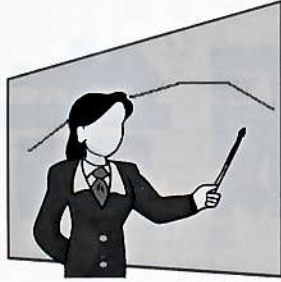


改修される嘉穂陸上競技場
(1億3,876万9千円)

市長、議員、 教育長、職員等の 期末手当等の減額

一般職の職員の給与
に関する条例ほか3
件の一部を改正

平成21年8月11日付
の人事院勧告を考慮
し、12月からの一般職
員の給料月額を、若年
層を除き、0.2%引
き下げるとともに、4
月分の給与の0.24
%の8カ月分と6月の
期末手当等の0.24
%を12月期末手当で減
額調整します。
また、12月に支給さ
れる期末・勤勉手当の
支給率を引き下げます。



市長・副市長・教育長	0・10カ月分減
(年間削減合計)	0・25月分)
議員	0・10カ月分減
(年間削減合計)	0・25月分)
一般職員	0・15カ月分減
(年間削減合計)	0・35月分)
再任用職員	0・05カ月分減
(年間削減合計)	0・15月分)

嘉穂陸上競技場の 高 校生の 利用区分を見直し

社会体育施設条例の
一部を改正

嘉穂陸上競技場の個人
利用における高校生の
料金区分を、現行の
大人料金から小・中学
生料金に改めます。
これにより、高校生
の3時間以内の個人利
用基本料金は、150
円から50円に引き下げ
となります。
また、12回分の回数
券も1,570円から
520円に引き下げら
れます。

12月補正予算

一般会計	6億9,111万2千円増額
総額	252億7,950万6千円
国民健康保険特別会計	2,765万4千円増額
総額	59億1,997万7千円
老人保健特別会計	補正なし
総額	2,641万7千円
後期高齢者医療特別会計	117万円増額
総額	6億2,103万6千円
介護保険特別会	1億9,744万3千円増額
総額	53億5,180万3千円
住宅新築資金等特別会計	143万4千円増額
総額	2億620万7千円
水道事業会計	1,564万4千円減額
総額	11億562万6千円
総額/9億316万9千円増額の	385億1,057万2千円

一般会計補正の主なもの (歳入)

地域活性化・経済危機対策臨時交付金	2億8,516万6千円増
荒廃森林再生事業補助金	5,482万1千円増
(歳出)	
下山田学童駐車場整備	660万円増
碓井第二保育所浄化槽改修	1,100万円増
嘉穂陸上競技場改修工事(設計監理含む)	1億3,876万9千円増
荒廃森林整備委託料	3,592万6千円増
※左の一般会計の補正額は、第5号と第6号の合計額です。	



駐車場が整備される下山田学童保育所

委員会 審査結果報告



定例会中に開催された委員会の審査や活動を報告します。



山倉委員長



大里副委員長



廣田委員



田上委員



跡部委員



永水委員



田中委員



中村委員



大谷委員

総務財政委員会

特別職の報酬等は
毎年、報酬等審議会へ諮問を

嘉麻市職員の特別職の給与等に関する支給条例の一部を改正

本案は、農事区長、介護認定審査会、地域密着型サービス運営委員会、地域包括支援センター運営協議会、地域ケア会議及び障害者自立支援審査会の委員等に係る報酬及び費用弁償の根拠規定を明確にするため、提案されたものです。

委員より、農事区長や審査会等の委員の身分を問う質問に対し、従前から非常勤特別職として取り扱っていたが、本条例の中で報酬及び費用弁償を明確に示すために改正するものであるとの回答がありました。

農事区長を例に挙げると、報酬及び費用弁償の支給については農事区規程で「予算に定めるところにより」と漠然と定めているが、



今回の条例改正と合わせてこの条文を見直す必要はないのかとの質問に対し、規程は見直す必要があり、今後、関係課と協議を行い検討していきたいとの回答がありました。

委員からは、一般職の職員は人事院勧告によつて給与が削減されている。特別職や非常勤特別職の報酬等の見直しは、特別職報酬等審議会へ諮問すれば近隣自治体の状況等の調査も行いながら、議論が交わされると思うので、ゼロ回答でも、毎年審議会へ諮問してもいいとの要望がありました。

民生文教委員会

利用者が減っている
原因究明を！



嶋田委員長



岩永副委員長



田淵委員



荒木委員



赤間委員



梶原委員



浦田委員



豊委員



清水委員

嘉麻市温水プール
スイミングプラザ
なつきの指定管理
者の指定について

本案は、現在、指定
管理者で管理運営が行
われている嘉麻市温水
プールスイミングプラ
ザなつきの指定管理者
の指定期間が本年度末
で期限が切れるため、
平成22年4月1日から
平成25年3月31日まで
の3年間、引き続き、
(株)福岡カホスイミング
スクールを同プールの
指定管理者として指定
するため、議決を求め
るものです。

委員より、スイミン
グプラザなつきの利用
者数が減って、減収と
なっている理由は何か
との質疑に対し、理由
としては、筑豊緑地に
温水プールができたこ
となどがあげられるが、
具体的な理由はつかん
でいない旨の回答があ
りました。

委員からは、これま



スイミングプラザなつき

でプール利用後の着替
え等の時間が短いなど、
利用者からの苦情を指
摘しているが、最近で
は、高齢者の利用区分
を65歳から70歳に引き
上げたことが利用者減
の最大の原因ではない
かと聞いているので、
その他の施設を含めて、
今後、十分に調査をし
て欲しい旨の要望があ
りました。

審査の結果、出席者
全員で可決しました。

民生文教委員長に 嶋田尋美議員

嶋田尋美議員

議 会運営委員に
嶋田委員、
岩永委員

が選任される

定例会最終日の民生
文教委員会において、
委員より、浦田吉彦委
員長に対する委員長不
信任案が提出され、出
席者全員で可決しまし
た。

これを受け、浦田委
員長より、委員長の辞
任願が提出され、委員
会において許可されま
した。

これにより、委員長
が不在となったため、
委員長互選を行い、嶋
田尋美議員が委員長に
互選されました。



嶋田尋美議員



岩永利勝議員

定例会最終日、議会
運営委員会委員の浦田
吉彦委員、清水 恵委
員から委員の辞任願が
議長に提出され、許可
されました。

これにより、2名が
欠員となったため、定
例会最終日の本会議の
冒頭、嶋田尋美委員、岩
永利勝委員の2名が選
任されました。

赤間幸弘議員が 辞職されました

議員を

平成21年12月22日の
本会議閉会后、赤間幸
弘議員(山田)より議長
に議員辞職願が提出さ
れ、同日、議長より許可
されました。

赤間議員は、平成13
年の初当選以来、3期
8年、議員を務められ、
山田市並びに嘉麻市の
発展に寄与されました。
長年のご尽力ご苦労
様でした。

人事案件

人権擁護委員の推薦
について同意しました。
坂口益夫氏（碓井）
山崎和代氏（山田）
有吉直子氏（稲築）

意見書

後期高齢者医療制度の即時廃止を求める意見書

後期高齢者医療制度の廃止を2013年まで先送りせず、マニフェストどおり、即時廃止を行い、いったん、老人保健制度に戻し、改めて新しい医療制度の検討を進めるよう国や県の広域連合に求めるものです。

2010年度の年金確保に関する意見書

高齢者の生活圧迫を防ぐとともに、これ以上のデフレと景気悪化を食い止め、地域経済を守るため、年金の減額改定を回避するよう国に求めるものです

改正貸金業法の早期完全実施を求める意見書

改正貸金業法の早期完全実施をすることや、自治体での多重債務相談体制の整備のため、相談員の人件費を含む予算を確保するなど、相談窓口拡充を支援することを国に求めるものです。

請願

鴨生町行政区内水害対策についての請願

鴨生町行政区内へ流入する水路の見直しと鴨生川水門への加圧ポンプ設置工事を早急に行い、水害根絶を求めるものです。

※ 後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出を求める請願及び2010年度の年金確保に関する請願書は、同趣旨の意見書が可決され、みなし採択として処理されています。

永年の功勞を

表彰

坂口政義議長が議長在職12年以上の長きにわたり、議長として公正な議会運営に尽力され、地方自治の発展向上に大きく貢献されたとして、総務大臣表彰を受賞され、12月議会の初日、本会議場において廣田副議長より表彰状が伝達されました。



廣田副議長(左)から表彰状を伝達される坂口議長(右)

議案の結果一覧（12月定例会）

○…全会一致
△…賛成多数

各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

総務財政委員会

議案第80号	農事区長や各種審議会等の委員に係る報酬及び費用弁償の根拠規定を明確にする	○可 決
〃 第81号	県税条例の一部改正に伴う、個人住民税の寄附金税額控除の適用対象の追加指定	○可 決
〃 第82号	消防法の一部を改正する法律が施行されたことに伴う、関係条項を整備する	○可 決
〃 第85号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する団体数の増減に伴い、当該組合規約を変更する	○可 決

民生文教委員会

議案第83号	嘉穂陸上競技場の高校生の利用料金を小中学生と同額に引き下げる	○可 決
〃 第84号	スイミングプラザなつきの指定管理者に(株)福岡カホスイミングスクールを指定する	○可 決
〃 第86号	福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する団体数の増減に伴い、当該連合規約を変更する	○可 決
請願第5号	後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出を求める	みなし採択
〃 第6号	2010年度の年金確保に関する意見書提出を求める	みなし採択

産業建設委員会

請願第4号	鴨生町行政区内へ流入する水路見直し等を行い、水害を根絶する	採 択
-------	-------------------------------	-----

予算特別委員会

議案第87号	平成21年度 一般会計補正予算(第6号)	○可 決
〃 第88号	平成21年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○可 決
〃 第89号	平成21年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○可 決
〃 第90号	平成21年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○可 決
〃 第91号	平成21年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○可 決
〃 第92号	平成21年度 水道事業会計補正予算(第2号)	○可 決

その他

委員会提出意見書第4号	後期高齢者医療制度の廃止を国及び後期高齢者医療広域連合に求める	○可 決
〃 第5号	年金の減額改定を回避するよう国に求める	○可 決
議員提出意見書第3号	改正賃金業法を早期に完全実施することなどを国に求める	○可 決

(11月臨時会 / 会期:平成21年11月30日 1日間)

議案を本会議で採決した結果(各委員会への審査付託はありませんでした。)

その他

議案第72号	一般職の職員の給与と期末勤勉手当の支給割合を引き下げる	○可 決
〃 第73号	議員の期末手当の支給割合を引き下げる	○可 決
〃 第74号	市長等の特別職の期末手当の支給割合を引き下げる	○可 決
〃 第75号	教育委員会教育長の期末手当の支給割合を引き下げる	○可 決
〃 第76号	時間外勤務代休時間の制度を新たに設ける	○可 決
〃 第77号	車両損傷事故に関する損害賠償の額を定める	○可 決
〃 第78号	交通事故に関する損害賠償の額を定める	○可 決
〃 第79号	平成21年度 一般会計補正予算(第5号)	○可 決

自治基本条例制定に関する 調査特別委員会中間報告

本案は、嘉麻市の自治の基本理念および基本原則を明らかにするとともに、市民の権利及び責務、並びに議会・市長等の役割及び責務を定め、市民が主体の自治の実現を図るため提案されたものです。

審査にあたり執行部より提出された、嘉麻市自治基本条例逐条解説書に沿って各章ごとに説明を受け、現在まで4回にわたり委員会を開催し、第8章コミュニケーションまでの審査を行いました。

◆委員から出された 主な意見

(抜粋)

(第1章・第2章)

- 第3条にうたわれている「市民」の定義、第5条（市民自治の原則）では、市民の積極姿勢への表現が明確に示されていない。
- 第6条の（情報共有の原則）では、行政や議会が保有する情報をどの範囲まで市民が共有できるのか。

(第3章)

- 第9条（市民の権利）で、執行部の解説では誰でも市政に参画する権利を有することのことだが、年齢に関してはある一定の枠を設けるべきではないか。
- 第11条（事業者の責務）では、市内事業者の位置付けが明確にされていない。
- 第12条（議会の役割及び責務）では、「議会独自の政策立案や政策提言を積極的に行わ

なければならぬ」と断定したような条文になっているが、なぜこのような表現にしたのか。

(第5章)

- 「市長等」は市長のほかにとこまでの役職が含まれているのか、その役割及び責務を果たさなければならぬのかが明確に示されていない。

○ 第18条（審議会等の運営）では、審議会委員の年齢構成、メンバー構成についても均衡を図るべきである。

(第6章)

- 第19条（情報公開及び情報提供）では、市が所有している情報とは別に市の執行機関ならびに付属機関に準ずる機関までの情報も公開するのか。

○ 議会側も情報が欲しい時にもなかなか出ないことがあつて、そのために、フアイリングシステムの構築が急がれると思料するが、情報公開の先進自治体に職員を派遣し、実態調査をすべきではないか。

(第7章)

- 議員自身も市民の付託を受けて出てきている。市民の参画は理解するが、市民が行政のすべてに参画をするようになれば議員の存在価値が問われる。

○ 第27条（参画の方法）では、市が実施する計画の策定や変更、廃止、条例の制定や改廃、施策の実施等々を行う場合、市民に対し、パブリックコメントやアンケート調査を実施することのことだが、市が行う全てのものに対して、パブリックコメントやアンケート調査を実施するのか。

また、この条文は素案に比べ抽象化されたように受け取れるため、分かりやすいものにするべきである。

(第8章)

- 嘉麻市にあつた条文とすべきではないか、現在嘉麻市においては、小学校の統廃合が進められているが、この統



廃合により、廃校となつた地域で生活している人々は、地球上から子どもたちが消滅したような、とても寂しい孤立感を感じているとの話しを委員会視察で目の当りにしてきた。

そういう孤立感を解消するためにもコミュニケーションづくり、いわゆる学校と地域と行政の連携協力を嘉麻市のこの自治基本条例にうたい込むべきである。

※ 本特別委員会では、閉会中に審査を重ね、3月定例会には結論を出せるよう努力していきます。

いっぱん質問

行政の考えを問う



田上 孝樹 議員
下山田小学校に通う児童の一部通学路
変更に伴う安全性について 10P

岩永 利勝 議員
鴨生地区集中豪雨の進捗状況について 10P

山倉 敏明 議員
情報公開について 11P

中村 春夫 議員
国道322号バイパス工事について 11P

吉永 雪男 議員
消防行政について 12P

豊 一馬 議員
嘉麻市職員定数条例の改正について 12P

田中 日本明 議員
臨時・嘱託職員の待遇改善について 13P

赤間 幸弘 議員
職員の健康管理について 13P

佐藤 道彦 議員
有害鳥獣駆除対策について 14P

荒木 紘子 議員
住民サービスの向上について 14P

藤 伸一 議員
乳幼児健診について 15P

田淵 千恵子 議員
給食費滞納について 15P

紙面の都合により、いっぱん質問の内容を680字以内でまとめています。



田上議員(山田)

田上 孝樹 議員
下山田小学校に通う児童の一部通学路
変更に伴う安全性について

問. 歩道橋の設置は できないのか

答. 地域住民の総意に
基づいた要望をしたい

質 国道322号線バイパス工事に伴う、下山田地域周辺整備がされている。これにより、下山田小学校に通う児童の通学路変更について把握されているか。
佐竹学校教育課長 一部変更されていることについては、学校から2件あると報告を受けている。
質 児童の通学路の安

全性については十分な配慮が必要である。この道路建設により、従来の通学路に比べて危険性や不便が生じるのではないかと考えている。

学校教育課長 今回新しい道路や橋の整備により、夕日ヶ丘団地方面から長野方面を經由して登下校する児童の通学路は、危険箇所回避のための迂回路として一部変更になっている。迂回路という点では、従来に比べて不便になったと言える。

質 この道路の開通はいつ頃になるのか。
松尾産業建設部長 22年春くらいには供用開始をする予定である。

質 迂回していることについて詳しく聞きたい。
学校教育課長 従来の通学路は、夕日ヶ丘方面から山田川の土手を直進して学校に向かっていたが、新しい交差点や橋の設置により、従来の通学路が遮断された形となった。信号機や横断歩道の設置をお願いしたが、車両交通安全上、警察の指導

により設置が認められていない。今後は道路を不法に横切る行為が想定されるので、児童には注意を含め、指導の徹底が不可欠であると考えている。

質 迂回路を歩いてみたが、危険箇所がある。横断歩道の設置ができないのであれば、歩道橋の設置ができないのか。
学校教育課長 あくまでも安全確保が大事である。歩道橋の設置については、これまでの経過を踏まえ、地域住民の総意に基づいた要望をしていきたい。

※この他新型インフルエンザの取り組みと対応についても質問しました。



道路改良がなされている下山田地区

岩永 利勝 議員

鴨生地区集中豪雨の進捗状況について

問. 関係団体との 交渉結果は

答. 水利解析に基づき協議する。

22年の梅雨時期までに対策を講じるとの回答を得ている。また、旧庄内町から出る雨水は、市長から飯塚市長宛に赤坂地区からの排水関係の早期対応と飯塚市が管理している白門井堰の倒伏を早めに設定されるよう強く要請している。



白門井水堰



岩永議員(稲築)

質 9月の質問の際、集中豪雨対策はどうするのかとの問いに、行政の答弁では「十分に対応する」とのことであったが、その後、各関係団体との交渉の進捗状況は。

中並土木課長 旧三井山野所有のボタ山跡地から出る雨水は、再三に及ぶ交渉の結果、

質 予算については。
土木課長 本格的に水利解析に着手し、被害に係る原因究明と有効な対策をたてるため、調査委託料を予算計上している。
質 市長は飯塚市長との協議はされているか。

質 ボタ山跡地の梅雨までの対策、工法は。また、飯塚市からの回答は。
土木課長 工法などは所有者と協議中で、まだ施工に至っていない。また、飯塚市からの回答はまだないが、今後水利解析などの調査を行った時に、並行して具体的な内容を飯塚市と協議・検討したい。

要望 梅雨時期まで残すところわずかなので、早急な対策・対応をお願いする。
※ このほか、行政でつくっている「えひめAI12」と「不審者情報防犯メール」の2件について質問しました。

質 なぜ情報公開が必要であるかを述べると、平成の大合併等により中央から地方へと権限が移譲され、人も金も不足した厳しい状況下に置かれた中、高度多様化した住民ニーズに対応するため、少ない予算で増大する行政需要に対応する行政経営

山倉 敏明 議員

情報公開について

問. 市民との情報共有の重要性についての認識は

答. 住民と協働し、いろいろな面で展開していかなくてはならない



山倉議員(稲築)

質 会議終了後などに閲覧用として、資料や議事録を展示できる情報公開コーナーを設置してはどうか。

能力、つまり小さな地方自治で大きな地方自治をすることが求められている。そのために、徹底した内なる合理化等を図るための行政改革や、市民・地域と協働して住民満足度の向上を図る政策が必要である。以上の観点から、従来の親方日の丸体制から脱却し、住民目線での官民一体となった協働のまちづくり・行政運営が必要である。住民の知る権利、いわゆる情報公開、事情・状況を広く一般に開放し、協働のまち、より住みたくなる嘉麻市を目指すために、市民との情報共有の重要性をどのように認識しているか。

松岡市長 今から先は地方分権から地方主権になり、住民と協働していろいろな面で展開していかなくてはならないと考えている。



市民相談室(碓井)

大里企画調整課長 情報を提供する場として、山田庁舎は情報公開室、嘉穂庁舎は市民相談室、稲築庁舎は情報公開閲覧室、碓井庁舎は市民相談室を設けており、ここで資料等を準備し、市民へ情報を公開し、市政に参加していただきたいと考えている。

要望 情報公開コーナーを個々に設けるのではなく、空き室を利用して閲覧室を設け、そこでテレビによる公開や資料等の閲覧ができるように内容の充実を図ってもらいたい。



中村議員(山田)

質 国道322号バイパス工事の田川・山田

中村 春男 議員

国道322号バイパス工事について

問. 新山田大橋の供用開始は

答. 22年春に供用開始予定である

質 国道322号バイパス工事の田川・山田

間の山田大橋までの供用開始はいつなのか。

土木課長 現在、市道との取付け交差点工事を行っており、22年春に供用開始の予定である。

質 県道の日吉峠工事の進捗状況は。

土木課長 現在牛隈側から工事に入っているが、その先の一部で用地交渉が滞っているため、山田側からの工事の着手を考えている。

市宮住宅について

質 山田本町団地の今後の活用は。

野見山住宅公園課長 山田本町団地は老朽化が進み、改修工事により多くの費用を要するので、現在空き家の入居停止をかけているが、この団地は利便性が良いので高齢者の方に対して、1、2階の再利用を前向きに検討したい。

質 産業廃棄物処分場について

質 平成20年度の嘉麻市内への産業廃棄物の搬入量は。

田中環境課長 平成19年度は4万4402㎡、

質 熊ヶ畑の不法投棄

平成20年度は8278㎡で減少している。

質 百々谷産業廃棄物処分場のその後の取組みは。

環境課長 現在県は業者と連絡が取れない状況である。同地の地下水検査を5月に行い異常はなかった。県としては処分場に監視カメラを設置し、現地調査も随時行っている。

質 熊ヶ畑の不法投棄

環境課長 現在、進展は見られないが、水質検査は随時行っており、21年11月19日採水の結果報告は受けていない。



山田大橋



吉永議員(山田)

吉永 雪男 議員

消防行政について

問. 消防車両台数の見直しを

答. 消防というのは市民の生命・財産を守るという重要な課題を担っている
ので十分協議し検討したい

質 合併後の火災等の発生件数と消防車の出動台数は。
福田総務課長補佐
火災の発生状況は、平成19年度22件、20年度19件であり、風水害等も含めると19年度196件、20年度316件である。消防車の出動台数は19年度延べ70台、20年度延べ35台である。

質 今日まで、消防団の統廃合に手をかけようとしませんが、嘉麻市になってから消防団幹部との協議を行ったのか。総務課長補佐 当面は消防団員の定数の見直しを図ってきた。車両台数については具体的に議論を深めていない。今後、24年度に消防施設整備計画の見直しを図る予定なので、その中で十分議論を進めていきたい。

質 災害発生時の消防車の出動台数は月平均で4台である。現在全体で22台所有しているが、山田、碓井に2台ずつ、嘉穂、稲築に4台ずつ、本庁舎に3台を配置すれば7台減らすことができるのではないかと。
廣方総合政策部長
消防車の活動エリアは旧市町村単位での計画がそのままつながっており、この計画は大変複雑な計算の中に成り立っている。市全体で見ると確かに実働的



消防車ポンプ車(出初式より)

台数が少ないのが実態であるが、自然災害時などには全分団の消防車が出動している。その辺りを含めて分析し、消防車の配置を検討する必要がある。
田中副市長 消防というのは市民の生命、財産を守らなければならぬという重要な課題を担っている。今後協議をしながら、市民の安心・安全のために活動できるように十分検討していくべきと考えている。
※この他に、嘉穂小学校統廃合、産業廃棄物処分場についてなど質問しました。



豊議員(山田)

豊 一馬 議員

嘉麻市職員定数条例の改正について

問. 市職員定数条例の改正を急げ!

答. 平成22年4月改正を目指す!

質 嘉麻市職員定数条例607人は、現在の職員数491人と比較して手がつけられておらず多いままである。実態に即して条例定数を現実の職員数に改正すべきではないか。
松岡市長 平成22年4月の人事異動及び組織体制の変更に合わせて職員定数条例改正を行

質 嘉麻市の指定管理条例違反について糾す
松岡市長の政治倫理条例違反について糾す
質 嘉麻市の指定管理

水道料金の給水停止の実施状況について
質 嘉麻市の市税等滞納総額は平成20年度決算で、滞納件数1万5,650件、滞納総額は16億6,939万4,000円に達しており、市税収入の1.27倍の滞納額である。その中で水道事業会計では滞納対策に大きな実績を示している。特に給水停止を執行して以来大きな成果を収めているが、これまでの取組状況をお尋ねする。
山口水道局長 滞納対策として平成20年1月17日以降、給水停止の実施に踏み切った。平成20年度末の滞納額5,444万5,496円のうち、給水停止実施後平成21年11月末までに給水停止件数2,017件、滞納回収額2,100万円の実績を上げる。

質 嘉麻市の指定管理条例違反について糾す
松岡市長の政治倫理条例違反について糾す
質 嘉麻市の指定管理

者となっている嘉麻市スポーツ振興公社理事長が松岡市長の後援会長に、副会長には嘉麻市の委託事業を受けている嘉麻市社会福祉協議会会長が就任しており、いずれもこの事実は、嘉麻市政治倫理条例第1条、第2条、第5条違反であり、多くの市民から違法性の指摘を受けている。市長の政治家としての倫理観と遵法姿勢を問われる問題である。速やかな関係者の役職更迭を強く求めるものである。
市長 私は直接利害関係がない。その地位を利用した場合は問題があると思っている。



碓井庁舎

質 先般の議会で、臨時・嘱託職員の待遇改善については速やかに対処すると回答されたが、その実態はどうか。
坂口人事秘書課長
 待遇改善の見地から、職員給与表を適用し、直近上位の金額を算定根拠として位置づけた。

田中 日本明 議員

臨時・嘱託職員の待遇改善について

問. 臨時・嘱託職員の勤務労働条件は改善するのか

答. 近隣自治体の状況を勘案しながら、待遇改善を検討する



田中議員(碓井)

質 臨時・嘱託職員を正規職員と同等であると認識するならば、通勤手当、特別休暇等も同じ取り扱いが当然だ。
人事秘書課長 近隣自治体と同等の待遇も、一定程度考慮する必要がある。

質 定年退職者等の再任用の問題はどう処理したか。
人事秘書課長 要綱を改定し、採用申込みの受付をしている。

質 臨時・嘱託・現業職員の立場に立って、当然の行為として対処してもらいたい。
松岡市長 近隣自治体の状況も考慮し、今後とも職員の待遇改善を検討していく。

質 ケーブルテレビ事業について
河崎総務課長補佐 事業の目的は、活力ある地域情報化社会づくりである。

質 事業の概要は。
総務課長補佐 放送格

差の是正、出先の公共施設や行政区内のネットワークを整備し、防災情報音声告知、市内無料IP電話、在宅安否確認事業などである。
質 今後の可能性は。
総務課長補佐 行政情報公開、独居老人対策の体制強化、情報化教育の活用、地域産業の活性化、情報基盤整備による若年層の定住化などが考えられる。
質 先般の議会で全市拡張案が否決となったが、市長選挙で再選されたら再度提案する意思はあるか。
市長 住民の意向を十分勘案し、全市に拡張したいと考えている。
要望 山田地区だけでなく、市全体の問題として捉え、迷惑がかからないように対応してもらいたい。



赤間 幸弘 議員

職員の健康管理について

問. 嘉麻市発展のために快適な職場環境の整備を

答. 職場環境の整備および適材適所の人事配置に関しても的確にやっていく



赤間議員(山田)

質 現在、休職者数は。
坂口人事秘書課長 合併後、休職した職員は27名で、内訳は一般疾病7名、メンタル系疾患20名である。

質 メンタル系疾患の原因は把握しているか。
人事秘書課長 過重勤務か、家庭内の事情で発生したものか、原因は把握していない。

質 その結果、人員増等の措置をとったことはあるか。
人事秘書課長 人員増等の人的配置の手立てを加えたことはない。

質 超過勤務が続いた場合は、原因の解明や健康管理のため、職員組合と一緒にやって管理職と本人からヒアリングを実施していると聞いているが、現在もやっているのか。
人事秘書課長 一昨年職員組合と締結した時間外勤務に関する協定(36協定)書に明記しているが、恒常的な時間外を強いられる職員については、本人と管理職、人事課職員、職員組合役員同席のもと、定期的にヒアリングを実施している。

質 嘉麻市職員安全管理規則にのっとり、快適な職場環境づくりに努めているか。
人事秘書課長 これまで十分機能してなかったが、安全衛生委員会において、職場巡視等を行い作業環境に問題がないかを検証するよう今年度計画を立て、来年度から実施するよう考えている。
質 職員が能力を發揮しやすいように、さらなる快適な職場環境づくりを強く要望する。
松岡市長 職場環境の整備、適材適所の人事配置については、今後の確にやっていきたいと思っている。





佐藤議員(嘉穂)

佐藤 道彦 議員

有害鳥獣駆除対策について

**問. イノシシ・シカによる
獣害は深刻**

答. 今後十分に対応していく

質 中山間地域において遊休農地・耕作放棄地となった原因の主なものは、イノシシ・シカによるものであり、特に谷間の耕作地の被害は目に余るものがある。今後、獣害対策を考えると中山間地域は崩壊してしまう。行政としての対応は、**松岡産業振興課長** 被

害を最小限に食い止めるには、イノシシ・シカの絶対数を減らすしかない。今の猟友会では限度があり、被害が拡大しても十分対応できないのが現状である。今後、有害駆除員や

増やさなければならぬ。また、処理場建設については協議会の立ち上げも視野に入れて検討したい。
松岡市長 中山間地域で農業を営む方々にとって、害獣被害は、嘉麻市にとって大きな問題と考えている。この地域の農業が荒廃すれば、水源の涵養や自然の景観が保てなくなり、また、洪水にもつながりかねない深刻な問題であるので、今後十分な対応をしていきたい。

に対処したのか。この地域では古処山への登山者、キャンプ場の利用者なども多く、不便を感じている。市内における不感地帯は長野から東畑地区の一带だけであるが再度対策を講じてはどうか。

河崎総務課長補佐 場所によっては微弱電波が入り、補助事業の要件に該当せず、また、市単費での通信用施設の設置は負担が大きく難しい。今後は民間業者に現地の状況を把握させ、十分協議し、何らかの方策を考えていきたい。
市長 業者に対する働きかけを強め、補助金も視野に入れ、スムーズに話し合いが出来るよう取り組むたい。



携帯電話の不感地帯について

質 千手長野地区の携帯不通話区域解消の要望書が出ているが十分

荒木 紘子 議員

住民サービスの向上について

問. 温水プールなどでマイナス効果になった制度の改善を

答. 市長自身が直接責任者と会い問題の事項を改善したい



荒木議員(稲築)

な効果などの目的を掲げているが現実とかけ離れている。
松岡市長 嘉麻市の高齢者率は28.8%であり、10年後には40%となる。高齢者が元気になり肉体的、精神的にも健康状態が続くよう今後やっていく。費用対効果だけで終わる問題ではないと思うので、直接指定管理責任者とお会いして、指摘の点の改善をお願いしたい。

稲築地区公民館の展望について
質 公民館の役割は、稲築地区公民館の利用状況は、19年度、55団体30,503名、20年度、30,894名だ。公民館の役割と必要性は地域との信頼関係、市民の学習、文化活動の場を作り、活動を通して協力連帯、地域づくりを結びつける為に公民館施設は重要かつ必要である。
質 稲築地区公民館は老朽化をしている。利用者には安全面に不安を感じ改善要求が何度も上がっている。合併前に生涯学習センター建設予定の計画があったがその後どうなっているのか。
市長 本市の第1次総合計画(24年〜28年)の中には具体的な内容検討に至っていない。稲築地区公民館は築39年を経過し人口も多く山上憶良とか文化活動も盛んである。このことも視野にいれ、各地区のバランスを図りながら進めていきたい。
要望 私共も行動を起こしながら過疎債では7割位の補助制度があると聞いてはいるが、よりよい制度を活用しながら建設を実現して欲しい。



スイミングプラザなつき

質 母子健康法の規定により、保健事業の中で実施されている乳幼児健診の内容は。中村健康課長 乳児健診は生後4ヶ月と7ヶ月の2回、幼児健診は1歳6ヶ月と3歳の2回、合計4回の健診を実施している。

質 現行の4回の健診では、3歳が最終年齢となり、就学前健診まで間が開き過ぎていることが、近年増加している発達障がいによって重要な意味合いがある。

質 早期発見の観点から、5歳児健診を実施する必要性は。

健康課長 発達障がい等を発見する有効な手段と認識している。

松岡市長 療育訓練事業は引き続き検討を重ねる。5歳児健診は大変重要な施策であり、実現できるように努力していきたい。

質 保育行政について

質 保育所における看護師の配置状況は。

深町こども育成課長 山野保育園と碓井第二保育所に1名ずつ配置している。

質 総合的な保健活動を推進するために、看護師の独立配置を段階的に推進し、取り組みを検討してもらいたい。

市長 医師会と協議しながら、十分研究して取り組んでいきたい。完全に独立配置でき

藤 伸一 議員

乳幼児健診について

問. 5歳児健診の必要性は

答. 早期に発達障がい等を発見するために有効であり、必要性を認識している



藤議員(稲築)

ない場合でも、看護師の巡回等で効果を上げていきたい。

質 介護保険制度について

質 11月から12月上旬にかけて、新たな介護ビジョンを組み立てる目的で、介護問題の総点検運動を行った。その調査結果に基づき尋ねるが、平成21年4月より実施されている介護保険料の減免制度における申請件数と認定件数は。

椋本高齢者介護課長 現在までの申請件数は8件、認定件数は4件である。

質 介護保険制度の現場の実態について、その他7点について質問をしました。



田淵 千恵子 議員

給食費滞納について

問. 滞納額を子ども手当から徴収できないか

答. 納税義務の意識の高揚を図るとともに、子ども手当からの徴収については研究したい



田淵議員(嘉穂)

質 学校給食の実施状況は。

佐竹学校教育課長 栄養士5名、給食調理員30名(うち臨時職員)の体制で、調理方式は自校方式12校、センター方式4校、山田中と上山田小は親子方式をとっており、年間185回実施している。

質 給食費は月額いくらか。

質 学校給食の滞納額は、旧市町ごとに相違があったが、平成21年から23年度の間、激変緩和措置を図り、23年度から同額し、自校方式で、小学校3640円、中学校4540円、センター方式で、小学校3480円、中学校4380円となる。また、センター方式は22年度小学校3020円、中学校3730円である。なお、全児童生徒に年間2200円の補助金を出す。

質 給食費の徴収方法は、学校教育課長 口座振替50・7%、納付書払い6・6%、就学援助・生活保護30・4%、集金2・3%で、滞納の率は納付書払いが高い。

質 収納率と滞納額は、学校教育課長 平成20年度決算では、収納率96・55%、未払金額500万1160円、過年度滞納額670万6341円、滞納合計1170万7501円となる。

質 滞納額の回収については、学校教育課長 23年度

までに段階的な引き上げを行うので、滞納繰越額の増が予測される。従来の納付や催促の方法に加え、法的手段の行使や新たな体制を構築する。

質 新政権が子どもは社会が育てるという理念で支給する「子ども手当」の意義を全市民が理解し、子ども手当から給食費を徴収するなど、滞納ゼロを目指すべきだ。収納方策の意気込みを聞きたい。

松岡市長 納税の義務は子どもの未来につながっていく。国が支給する子ども手当については研究したい。



委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

民生文教委員会

地域に根差した学校づくりを

本委員会では、秋田県大仙市を視察しました。

大仙市は、秋田県の中央部に位置し、平成17年に1市6町1村が合併した人口約9万人の市で、教育施策に力を入れ、全国学力調査でもトップクラスの成績をおさめています。

今回視察した協和小学校は、平成20年4月に6つの小学校を統合し、新設されました。

統合の課題としては、学校施設がなくなった地域で、「子どもたちの姿が見られなくなって、寂しい」という声が多く聞かれたので、地域の方々が、積極的に学校運営にかかわれるよう配慮されています。

施設の特徴としては、全教室がオープンとなり、子どもたちの声がどこにいても聞こえる工夫がなされています。



開放的な教室となっている

産業建設委員会

白山市観光交流施策について

石川県白山市は、平成17年に1市2町5村で合併した市です。

同市は、白山や日本海をはじめとする観光資源には恵まれていますが、その他の観光資源は規模が小さいので、市外からの観光客や宿泊者が少なく通過型が多い状況です。

そこで、観光に力を入れるべく「観光推進部」を設置し、「白山まるごと観光交流プラン」の作成を行い、市外からの入り込み客数の増加を図る施策を行っています。

この視察を通し、嘉麻市に散在する多くの観光資源を活かし、地域活性化を図る施策に取り組む必要があると強く感じました。



研修を受ける委員

総務財政委員会

自治基本条例制定の取り組みについて

長野県飯田市は、議会が主導となり、市民・行政・議会が一体となって条例制定に取り組んだ自治体です。

地方分権の推進により、自治体の自立が求められる中、平成14年に超党派による「議会在り方研究会」の設置を発端に、全国初の議

会が設置した「わがまちの憲法を考える市民会議」での議論など、3年半の歳月をかけて議論を重ねられ、平成19年4月から条例が施行されています。

また、地区説明会で、議員自らが条文内容を説明するなど、市民の中に議会自ら入ること、議員が変わり、市議会が活性化してきたと話がありました。



研修を受ける委員